

令和7年度 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 不祥事ゼロプログラム

神奈川県立保土ヶ谷高等学校は、神奈川県職員不祥事防止対策条例に基づき、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

神奈川県立保土ヶ谷高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭、総括教諭がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画

職員一人ひとりが当事者意識を持ち、高い倫理観と法令遵守により事故・不祥事の未然防止に取り組む。また、生徒の「国際性豊かな教養」「心豊かな人間」「自主・自律の精神」を育成するため、生徒一人ひとりの人権を尊重し不祥事なく業務を遂行する。

月1回必ず全職員による事故防止会議を開催し、考えられる予防策をその都度全職員で確認する。予防に関しては常に事故を防ぐという緊張感を持ち、毎回複数のチェックを行い、学校全体で不祥事ゼロをめざす。

	課題	目標	行動計画
①	法令遵守意識の向上	法令の遵守 服務規律の徹底	・「神奈川県職員行動指針」の励行 ・不祥事防止の意識の向上のための日常的な注意喚起と意識啓発 ・職場コミュニケーションのより一層の活性化 ・経験の浅い教職員の不祥事防止のための組織的な取り組みの実施
②	職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の根絶	・人権尊重意識の向上と課題を指摘しあえる職場環境の整備 ・管理職による相談体制の整備
③	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の根絶	・生徒との適切なコミュニケーションの徹底 ・携帯電話・電子メール・SNSの適切な使用の徹底 ・人権意識向上のための職場研修会の実施
④	体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進、不適切指導の防止	・生徒の人権に配慮した指導のための教員間の連携と情報交換 ・部活動指導ハンドブック等を活用した事故防止の徹底
⑤	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止	・入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成に関するマニュアルの整備とそれに基づく業務遂行の徹底 ・管理職及び複数の関係職員による相互チェックの徹底
⑥	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底	・施錠できるロッカーでの適切な生徒手帳等の管理 ・欠席等で返却が遅れたテストについて、施錠できるロッカーへの保管の徹底・定期テスト期間のシュレッダー使用禁止による誤廃棄等の防止 ・「個人情報校外持ち出し許可願」の提出と直帰の厳守

⑦	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守	・職場研修会等を通じた交通事故による被害者等への影響の甚大さの自覚 ・酒席が多くなる時期の注意喚起
⑧	業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止	・ICTの積極活用による業務の合理化 ・職員相互の協働による業務の計画的で適正な執行
⑨	財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止	・適正な帳票類の作成・管理と迅速で正確な会計処理 ・職員の相互チェック体制による適正執行

3 検証

- (1) 2に規定する行動計画について、令和8年1月中に前年12月までの実施状況を確認する。未実施があった場合は補完措置を講じ、目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は必要な修正を行う。
- (2) 全体の実施状況を確認するとともに、目標達成についての自己評価を行う。その結果新たな目標設定（各目標の修正を含む）等が必要な場合は、令和8年度における神奈川県立保土ヶ谷高等学校不祥事ゼロプログラムにその結果を反映させていく。

4 実施結果の公表

3（2）の検証を踏まえ、「実施結果」を取りまとめて、ホームページに掲載する。

5 事務局

プログラムの策定及び実施の具体的手続きについては、事故防止会議がこれを行う。